

ワークシート ミュージアム編^{へん} (小学生) 解答例^{かいとうれい}

Q1 縄文人^{じょうもんじん}のころ

(答え)

土器^{どき}は、煮炊き^{にた}をしたり、食べものや水をたくわえたりするため。

石器^{せつき}は、動物や魚をとったりするため。

石器^{せつき}は、動物の肉を切ったりするため。

土偶^{どくわう}は、まつりを行うため。など

(解説)

縄文時代^{じょうもんじだい}に土器^{どき}が発明^{はつめい}され、煮炊き^{にた}ができるようになりました。

土偶^{どくわう}は、胸^{むね}があることから女性をあらわしていると考えられます。

Q2 海^{うみ}の恵み^{めぐみ}

(答え)

つり針。ヤス。モリ。網^{あみ}。 など

(解説)

魚はアジ、サバ、イワシなどの小魚のほかに、サメやブリが多く食べられていましたが、タコやイカ、シャコなども食べていたこともわかりました。

Q3 森^{もり}の恵み^{めぐみ}

(答え)

弓矢^{ゆみや}。槍^{やり}。落とし穴。わな。

(解説)

石の矢じり^やや槍先^{やりさき}が出土しているため、弓矢^{ゆみや}や槍^{やり}を使ってえものをとっていたと考えられます。

Q4 円筒土器^{えんとうどき}

(答え)

バケツを上下にひきのばしたような形

ラッパのような形 など

(解説)

円筒土器は、筒^{つつ}のような形であることからつけられた名前です。おもに、なべのように火にかけて煮炊き^{にた}するのに使われ、外側^{すそ}には煤^{すす}が、内側^{うちがわ}にはおこげが残っているものもあります。

Q5 盛土^{もりど}

(答え)

土。土器^{どまき}。炭^{すみ}。骨^{ほね}。 など

(解説)

捨てられているもので、土のほかに、よく見えるものは土器^{どまき}です。断面^{だんめん}から、とび出ているものの多くは土器^{どまき}の破片^{はへん}です。黒い地層^{ちそう}には炭^{すみ}、白い地層^{ちそう}には焼けた骨^{ほね}が観察^{かんさつ}できます。

Q6 竪穴住居^{たてあなじゆうきょ}

(答え)

お父さん=狩^かりの道具の手入れ

お母さん=料理^{りょうり}

おばあさん=あみ物

子ども=おばあさんのあみ物を見ている

など

(解説)

竪穴住居^{たてあなじゆうきょ}は、家族で生活するための場でした。天井^{てんじょう}には魚^{さけ}（鮭）が干^ほされており、干物^{ひもの}などの保存食^{ほぞんしょく}もつくられていたと推測されます。

Q7 墓^{はか}

(答え)

石 など

(解説)

にぎりこぶしぐらいの石が、よく入れられています。その中でも、木の実を割ったり、すりつぶしたりした石器や、植物の加工に使われた石器が多く見つかります。